

消防設備協会だより

No.34



平成29年7月1日
 (一社)石川県消防設備協会
 金沢市西泉5丁目93番地
 Tel (076) 242-2882
 Fax (076) 242-9959
 E-mail ishi-ssk@spacelan.ne.jp
 URL : http://www.issk.or.jp



目次

- 1. 通常総会の開催 2
- 2. 平成29年度事業計画 4
- 3. 平成29年度一般会計収支予算書 5
- 4. 創立40周年記念式典・祝賀会 6
- 5. 就任のご挨拶 8
- 6. 平成28年11月以降の主な通知等 9
- 7. 防火対象物を訪問しています！ 10
- 8. 消防設備士試験結果等 11
- 9. 平成29年度講習予定 12

昨年12月にユネスコの無形文化遺産への登録が決まった七尾市の「青柏祭の曳山行事」は、千年以上伝わる伝統行事で、同市山王町の大地主神社のおおどこめしおおどこめしの春の例大祭です。

現在は5月3日から5日の大型連休に開催され、鍛冶町、府中町、魚町が出す「でか山」は、藤つるで骨組みを編む伝統の方法で組み立てられ、作業は祭りの2か月ほど前から町ぐるみで進められます。また、でか山を引き出す際に歌う木やりには子どもも参加し、町一丸となって盛り上げます。

高さ10mを超える「でか山」が狭い街中を移動する様子は迫力があり、また、誇りをもって伝統が継承されており、毎年多くの見物客でにぎわっています。

平成29年度

通 常 総 会 開 催

開会挨拶する米沢 寛会長

平成29年度通常総会は、去る6月6日ANAクラウンプラザホテル金沢で、正会員140社中124社（本人出席64人、委任状提出60人）が出席して開催されました。

開会に当たり米沢寛会長の挨拶の後、石川県危機管理監室消防保安課長の山森力様、金沢市消防局予防課担当課長の西村英樹様から祝辞があり、引き続き議事に入りました。

議長に中西英文氏を選出した後、議案の審議がなされ、「第1号議案 平成28年度一般会計事業報告」及び「第2号議案 平成28年度一般会計

収支決算報告」は一括審議され、説明の後、新保監事から監査報告があり、議長から両議案について諮った結果、全員異議なく可決承認されました。また、「第3号議案 役員の改選について」も原案どおり可決され、「平成29年度一般会計事業計画及び収支予算」の内容についても報告がなされました。

平成29年度 一般社団法人石川県消防設備協会会長表彰

通常総会に先立ち、平成29年度会長表彰が行われ、永年にわたり消防用設備等の適正な工事又は保守業務の推進とその普及に尽力した会員事業所及び消防用設備等の適正な設置、維持管理業務に従事し、他の模範と認められる会員事業所の従業員の方々が表彰されました。

会 員 表 彰

金津電子 株式会社

個 人 表 彰

前	口	忠	則	(株式会社 北陸総合防災センター)
本	江	佳	太郎	(株式会社 ツーテック)
大	谷	祐	司	(能美防災 株式会社 金沢支社)
徳	山	洋	一	(北電テクノサービス株式会社 金沢支店)
松	岡		洋	(米沢電気工事株式会社)
藤	本	真	一郎	(藤本電機株式会社)
谷	内	孝	志	(北陸東和冷暖房株式会社)
藤	本	文	雄	(北陸総合ビル管理株式会社)
横	江	孝	夫	(株式会社ほくつう 小松支店)
村	本		聡	(長野ポンプ株式会社)





就任のご挨拶

一般社団法人 石川県消防設備協会

会長 長野 幸浩

本年6月6日に開催された定期総会及び理事会において、当協会第4代目の会長に選出され、この度就任いたしました。会員の皆様方を初め、関係各位におかれましては、よろしくお願い申し上げます。

当協会は、昭和52年に社団法人として設立されて以来、本年で40周年を迎えたところでありますが、設立以来、長きにわたり県民の安全と安心な暮らしと生活を守ることを使命として、地道に活動を重ねてきた結果、会員数は140社に、点検済票の交付枚数も57万枚を超えるなど順調に業績が伸びてきております。これも関係各位のご支援とご指導の賜と深く感謝をしているところであります。

さて、近年、集中豪雨に伴う河川の氾濫や浸水、大規模な地震などの自然災害に加え、大きな火災による被害も相次いでおり、日頃から防災意識を持ち、備えを万全にする必要性が再認識させられます。

同時に、これらの業務に従事する我々に課せられた使命もまた大きく、引き続き点検資格者の資質の向上を図るとともに、これまでも増して防火・防災意識の啓蒙を図るなど、組織をあげ広く地域社会に貢献できる体制づくりを目指さなければならないと考えております。

この創立40周年の節目を機に更に地域社会の安全確保に貢献し、信頼を得られる法人を目指したいと決意を新たにしているところでありますので、関係の皆様方には、今後とも引き続き格別のご指導、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

◎協会役員等名簿

役職	氏名	所属・事業所等	役職	氏名	所属・事業所等
顧問	谷本正憲	石川県知事	理事	松井哲之	日新電設(株) 代表取締役
参与	小谷正利	石川県消防長会会長	〃	田中貴大	ニッタン(株) 金沢支店長
相談役	米沢寛	(一社)石川県消防設備協会 前会長	〃	日向敏治	(株)善商 代表取締役
会長	長野幸浩	長野ポンプ(株) 代表取締役	〃	秋田順孝	秋田電気工事(株) 代表取締役
副会長	中西英文	北陸東和冷暖房(株) 代表取締役社長	〃	池田康弘	ホーチキ(株) 金沢営業所長
〃	大地実	(株)大地電業所 代表取締役	〃	新保良介	みなみ設備工業(株) 代表取締役社長
〃	本田昭	(株)本田商会 代表取締役会長	〃	村本宗和	米沢電気工事(株) 代表取締役社長
〃	嶋田泰嗣	(株)ほくつう 代表取締役社長	〃	藤原康之	能美防災(株) 金沢支社長
理事	山森力	石川県危機管理監室 消防保安課長	監事	切道泰郎	中央防災消防(株) 代表取締役
〃	松本悟二	石川県消防長会参与 (金沢市消防局次長)	〃	生口隆司	(株)ビナン 代表取締役
〃	谷口敏	アムズ(株) 代表取締役社長	〃	早見悟	(一財)北陸電気保安協会 石川支店 部長
〃	村島外三雄	(一社)石川県設備設計監理協会 会長	※下線は、新任者(任期:H29.6~H31.6)		

平成29年度事業計画

事業区分	事業内容
I 実施事業等会計	
1 消防用設備等適正点検推進事業	(1) 啓発普及事業 消防用設備等に関する意識啓発のため、ホームページの維持更新及び普及用リーフレット、パンフレット等の配布ほか
2 講習事業	(1) 点検実務研究会の開催 研究会 8月25日(金) 受講予定者 100名 会場：石川県地場産業振興センター (2) 消防設備士試験予備講習の開催 消防設備士試験の受験予定者を対象に消防設備士試験予備講習を実施 第1類 6月20日(火) 第4類 6月21日(水) 受講予定者 50名 第6類 6月22日(木) 石川県地場産業振興センター
II その他会計	
1 表示登録推進事業	(1) 表示登録会員登録制度について、点検事業者等へ周知徹底 (2) 点検済票貼付の促進 (3) 点検推進指導員を設置(嘱託職員 1名) (4) 会長表彰の実施 (5) 消防用設備等の設置、整備及び保守点検の参考図書を一般に斡旋 (6) 防火基準点検済証などの斡旋 (7) 防災センター(仮称)の設置について、先進地視察等の実施 (8) 煙感知器等点検機器を整備し、会員へ貸与
2 受託講習事業	(1) 消防設備点検資格者再講習の実施 第1種 10月18日(水) 受講予定者 100名 第2種 10月19日(木) 石川県地場産業振興センター (2) 消防設備士法定講習の実施 消火設備 2月13日(火)～14日(水) 避難設備・消火器 2月15日(木)～16日(金) 警報設備 2月20日(火)～23日(金) 受講予定者 1,000名 石川県地場産業振興センター
3 関係機関との連絡調整	消防機関との連携を密にするとともに、一般財団法人日本消防設備安全センター、都道府県消防設備協会連絡協議会等と情報交換を実施
III 法人会計	
総会等の開催	(1) 総会及び創立40周年記念式典・祝賀会の開催 日 時：6月6日(火) 会 場：ANAクラウンプラザホテル金沢 (2) 理事会の開催 必要に応じ、年3回程度

平成29年度一般会計収支予算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

1. 事業活動収入

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
会費・入会金収入	3,824,000	3,780,000	44,000	正会員:137社、準会員:1人 表示登録会員:105社
事業収入	23,552,000	24,566,000	△ 1,014,000	
補助金等収入	440,000	440,000	0	
雑 収 入	114,000	114,000	0	
特定預金取崩収入	1,501,000	1,000	1,500,000	
事業活動収入計	29,431,000	28,901,000	530,000	

2. 事業活動支出

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
I 実施事業等会計	10,240,000	6,081,000	4,159,000	
1 消防設備適正点検推進事業費	10,240,000	6,081,000	4,159,000	
(1) 啓発普及事業費	6,340,000	1,574,000	4,766,000	配付用図書、ホームページ維持費等、創立40周年記念事業費
(2) 講習事業費	1,539,000	1,685,000	△ 146,000	実務研究会等開催
(3) その他	2,361,000	2,822,000	△ 461,000	
II その他事業会計	20,941,000	21,586,000	△ 645,000	
1 表示登録推進事業費	9,289,000	9,970,000	△ 681,000	点検済票印刷費、損害保険料、嘱託職員費他
2 受託講習事業費	3,567,000	3,816,000	△ 249,000	
(1) 消防設備士法定講習開催事業費	3,380,000	3,340,000	40,000	
(2) 消防設備点検資格者講習事業費	0	341,000	△ 341,000	隔年実施
(3) 消防設備点検資格者再講習事業費	187,000	135,000	52,000	
3 その他	8,085,000	7,800,000	285,000	
III 法人会計	3,912,000	5,096,000	△ 1,184,000	
事業活動支出計	35,093,000	32,763,000	2,330,000	
事業活動収支差額	△ 5,662,000	△ 3,862,000	△ 1,800,000	
当期収支差額	△ 5,662,000	△ 3,862,000	△ 1,800,000	
前期繰越収支差額	25,136,685	23,140,676	1,996,009	
次期繰越収支差額	19,474,685	19,278,676	196,009	

創立40周年記念式典及び祝賀会を開催

当協会は、昭和52年11月に社団法人として設立されて以来、本年度で創立40周年を迎えることとなり、6月6日の通常総会に続いて知事をはじめ多くの来賓及び会員の方々の出席の下、ANAクラウンプラザホテル金沢で記念式典及び祝賀会が開催されました。

また、式典において、一般財団法人日本消防設備安全センター理事長から当協会に感謝状が授与されたほか、これまで協会発展に尽力された役員及び会員に対する知事及び会長表彰が行われました。



<p>一、開 式</p> <p>一、受賞者代表謝辞</p> <p>一、来賓紹介</p> <p>石川県消防協会 会長</p> <p>以上</p>	<p>式次第</p> <p>一、開 式</p> <p>一、会長あいさつ</p> <p>一、表 彰</p> <p>一般財団法人日本消防設備安全センター 理事長感謝状 石川県知事表彰 一般社団法人石川県消防設備協会 会長表彰</p> <p>一、来賓祝辞</p> <p>石川県知事 一般財団法人日本消防設備安全センター 理事長 石川県消防協会 会長</p>
---	---



米沢会長開会挨拶



谷本知事祝辞



原田理事長祝辞



小谷消防協会会長祝辞



理事長感謝状授与



知事表彰状授与



会長感謝状授与



受賞者代表謝辞



谷本知事・原田理事長と受賞者の方々



長野新会長挨拶



芸妓さんによる素囃子演奏



山本危機管理監の乾杯



中西副会長の中締め



就任のご挨拶

石川県危機管理監

山 本 次 作

本年4月1日付けで危機管理監を拝命いたしました。どうぞよろしくお願ひいたします。一般社団法人石川県消防設備協会が、創立40周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。貴協会の皆様には、日頃から本県消防防災行政の推進に格別のご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、近年、日本各地で大きな災害が相次いでおり、昨年も熊本地震や相次ぐ台風による豪雨災害、年の瀬には、新潟県糸魚川市で、約150棟を焼損する大規模火災が発生いたしました。本県においては、今年、能登半島地震から10年の節目を迎えます。県としましては、防災総合訓練の実施など、万が一の際にしっかりと対応できる体制を整えるとともに、今後とも、災害被害の最小化に向け、市町や関係機関と連携しながら、「自助・共助・公助」の体制のより一層の充実強化を進め、県民の安全と安心の確保に万全を期してまいります。

また、一昨年には、川崎市の簡易宿所や広島市の飲食店において、火災が発生し、人的、物的被害がありました。国においては、ホテル、旅館等における防火安全体制の充実強化を図るため、平成27年8月から「防火対象物に係る表示制度」が開始され、基準に適合したホテル・旅館等からの申請により、表示マークの交付が行われております。各消防本部においても、消防法令違反等の不備がある施設に対しては、改善を強く指導し、防火安全対策の更なる徹底を図るなど、所要の措置がなされているところです。更に、消防法令上必要なスプリンクラー設備などの消防用設備等が設置されていない違反対象物について、その施設名などを公表する「違反対象物に係る公表制度」が、平成30年度から、県内でも順次実施される予定となっております。

県といたしましても、各消防本部と連携し、防火対象物における消防用設備の設置・維持等、防火安全対策の更なる徹底が図られるよう取り組んでまいりたいと考えております。

このような中で、消防設備士の育成講習事業や消防用設備点検済表示制度の推進、消防用設備等の適切な維持管理など、県民の安全・安心に対する貴協会への期待はますます大きくなり、その役割も一層重みを増しております。貴協会におかれましては、これまで培われた技術やノウハウを活かし、引き続き、多様化する消防防災行政の推進のため、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴協会の今後益々のご発展と、会員各位のご健勝並びにご多幸を心からご祈念いたしまして、就任のご挨拶とさせていただきます。



消防保安課長

山 森 力

平成28年11月以降の主な通知等

発番号	日付	発信者	標 題
消防予 第338号	H28.11.9	消防庁 予防課長	住宅用火災報知器の適切な維持管理の周知について（依頼） 住宅用火災報知器は、平成16年の消防法改正により平成18年6月1日から新築住宅への設置が義務化され、今年で10年が経過した。そのため、「電池の寿命は10年が目安とされていること」、「定期的に作動確認が必要であること」、「作動確認のわかりやすい手順」、「本体又は電池の交換の方法」等の適切な維持管理を行うために必要な情報を各種広報誌等を用いて当該居住者などへ周知していただきたい。
消防予 第352号	H28.11.25	消防庁 予防課長	消防用設備等の点検要領の一部改正について パッケージ型自動消火設備の点検要領の一部が改正され、「パッケージ型自動消火設備の設置及び維持に関する技術上の基準を定める件」第2第2号に規定するⅡ型が設置される防火対象物又はその部分に当たっては、可燃性の可燃物が存し消火が困難と認められるものに該当しないこととなった。
消防予 第382号	H28.12.20	消防庁 予防課長	消防用設備等点検報告制度に係る留意事項等について 「消防用設備等点検報告制度のあり方に関する検討部会」で点検報告の実施を促進させるための取組事例の収集や経年劣化や新技術を踏まえた合理的な点検方法の検討など点検報告制度の実効性向上のための検討を行い、その結果を踏まえ、点検報告制度に係る留意事項等が取りまとめられた。
事務連絡	H28.12.22	消防庁 予防課	リチウムイオン電池からの火災に対する注意喚起について 東京消防庁からリチウムイオン電池からの火災に対する注意喚起がなされているので、情報提供するもの。
消防予 第391号	H28.12.28	消防庁 予防課長	重大な法令違反対象物に係る調査の結果について 「平成28年度防火対象物実態等調査の実施について（依頼）」により実施した「第33表重大違反対象物の措置状況等調査票」の調査結果が取りまとめられた。
消防予 第71号	H29.3.23	消防庁 予防課長	一般住宅を宿泊施設や飲食店等に活用する場合における消防用設備等に係る消防法令上の技術上の基準の特例の適用について（通知） 従来、民宿等における消防用設備等に係る消防法令の技術上の基準の特例については「民泊等における消防用設備等に係る消防法令の技術上の基準の特例の適用について」に規定されていたが、一定の要件を満たす防火対象物については、消防法施行令第32条の規定を適用し、その特例を認めても差し支えないこととしたもの。
消防予 第80号	H29.3.31	消防庁 予防課長	消防用設備等の試験基準及び点検要領の一部改正について 「消防用設備等点検報告制度のあり方に関する検討部会」における検討結果を踏まえ、火災報知設備の試験基準及び「自動火災報知設備」「誘導灯」などの点検要領の一部が改正された。

注) 詳細な内容については、当協会ホームページの「TOPICS」欄でご確認ください。また、各種申請様式等については、(一財)日本消防設備安全センターホームページの「法令様式」をご利用ください。

■ ■ 会員の入会・退会のお知らせ ■ ■

<入 会>

年月日	事業所名	代表者名	所在地
H29. 4. 4	有限会社 システムタバタ	代表取締役 田 畑 多喜雄	能美市倉重町戊2番2号
H29. 4. 5	株式会社 ビナン	代表取締役 生 口 隆 司	金沢市寺中町イ91番地4
H29. 5.25	株式会社 中田エンジン	代表取締役 中 田 利 康	白山市森島町う140番10

防火対象物を訪問しています！

当協会では、自主事業として「消防用設備等の点検・報告制度の普及促進と実態把握」等のため、平成22年度から点検推進指導員が小さな子どもやお年寄りを初めとした不特定多数の方々が利用する防火対象物を中心に訪問し、関係者等に対する啓発・助言を行っています。（平成28年度末までに1,956か所訪問）

その中で、法令に定められた6か月ごとの機器点検がなされていないところが見られますので、点検済票に次期点検年月を明示し、期間内に点検がなされるようご協力をお願いします。

なお、今年度から児童養護施設に設置されている消火器で、10年を経過したものは、協会負担で更新することとしていますので、点検をされる会員事業所の皆様にはご協力をお願いします。

表示登録会員は、高い技術を持っている点検のプロフェッショナル！

消防用設備等に点検済票（ラベル）が貼られていますか？

点検済票（ラベル）は、都道府県消防設備協会が一定の要件を満たしている点検実施者（表示登録会員）に交付するものです。



- ・消防用設備等の点検が適正に行われ、機能が正常であるものに、点検済の表示をし、点検実施者の責任を明確にするとともに、防火対象物の関係者や利用者などに維持管理が適正に行われていることを知らせるものです。
- ・表示登録会員は、消防用設備等の点検が適正に終了した場合には、協会から交付された点検済票を貼付しなければなりません。
（貼付する場所の例：消防用設備等「点検済票表示位置の例」参照）
- ・点検の結果、不良個所があった場合は、点検済票の整備要に○をつけその旨を表示することとしています。

※今年度使用分からは、次期点検欄に全て「6か月後」を印刷することとなっています。

■ ■ 平成28年度消防設備士試験結果 ■ ■

試験実施日(後期) 平成29年1月15日(日)

試験の種類	受験申請者	受験者数	合格者数	合格率%	試験の種類	受験申請者	受験者数	合格者数	合格率%		
甲種	特類	9	7	2	28.6	乙種	第1類	18	16	2	12.5
	第1類	119	84	24	28.6		第2類	8	6	1	16.7
	第2類	38	33	12	36.4		第3類	6	5	0	0.0
	第3類	28	21	8	38.1		第4類	120	89	32	36.0
	第4類	163	120	4	34.2		第5類	14	12	4	33.3
	第5類	29	24	8	33.3		第6類	184	144	51	35.4
							第7類	108	98	54	55.1
	合計	386	289	95	32.9		合計	458	370	144	38.9
甲・乙総合計							844	659	239	36.3	

■ ■ 平成29年度消防設備士試験実施計画 ■ ■

試験日	試験会場	時間・種類	受付期間
「第1回」 平成29年 7月2日(日)	石川県地場産業 振興センター	午前9:00~ 甲種第1.2.3.5類、 乙種第1.2.3.5.6類	平成29年5月8日(月) ~5月17日(水)
「第2回」 平成29年 11月5日(日)			平成29年9月4日(月) ~9月13日(水)
「第3回」 平成30年 3月4日(日)		午後1:30~ 甲種特類、第4類 乙種第4.7類	平成30年1月9日(火) ~1月18日(木)

- 注) 1. 都合により計画の内容が変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。
 2. 受験願書、案内書等は、受付の約2週間前から配布されますのでこれによりご承知ください。
 3. 問合せ先：(一財)消防試験研究センター石川県支部 (TEL 076-264-4884)

※ 免状の写真が期限切れになっていませんか？

免状の写真は、免状交付の日から10年以内ごとに書き換えなければなりません。写真の有効期限が到来した方は、消防設備士講習受講日までに書き換えを済ませておいてください。(写真の有効期限が過ぎている場合は、免状裏の受講証明印を押印できないこととなります。)

※ 現住所変更を連絡していますか？

当協会では、消防設備士講習受講対象者の現住所へその都度受講案内をしていますが、「宛先不明」として返戻されるものが多数あります。現住所を変更したら、当協会へ連絡願います。

平成29年度講習予定

◆消防設備士試験予備講習

対象者：消防設備士試験の受験予定者

講習区分	講習月日	時間	講習会場	受付期間
第1類	平成29年6月20日(火)	9:30～16:30	石川県地場産業 振興センター 新館 第13研修室	受付終了
第4類	平成29年6月21日(水)			
第6類	平成29年6月22日(木)			

・受講料：会員5,000円、一般12,000円（各講習区分ごと・テキスト代含む）

◆表示登録会員点検実務研究会

対象者：当協会表示登録会員及び一般正会員

月日	時間	会場	受付期間
平成29年8月25日(金)	10:00～16:30	石川県地場産業振興センター 本館 第1研修室	7月24日～8月4日 (郵送のみ)

・受講料：無料

◆消防設備点検資格者再講習

対象者：消防設備点検資格者免状取得後及び消防設備点検資格者再講習受講後における最初の4月1日から5年以内の者

講習区分	講習月日	時間	講習会場	受付期間
第1種	平成29年10月18日(水)	9:50～16:00	石川県地場産業 振興センター 本館 第2研修室	8月26日～9月4日 (郵送のみ)
第2種	平成29年10月19日(木)			

◆消防設備士法定講習

対象者：消防設備士免状の交付を受けた日以降における最初の4月1日から2年以内の者及び消防設備士講習を受けた日以降における最初の4月1日から5年以内の者

講習区分	講習月日	時間	講習会場	受付期間
消火設備	平成30年2月13日(火) ～14日(水)	10:00～17:00	石川県地場産業 振興センター 本館 第1研修室	平成30年 1月5日～1月17日 (郵送のみ)
避難設備 消火器	平成30年2月15日(木) ～16日(金)			
警報設備	平成30年2月20日(火) ～23日(金)			

・受講料：7,000円（各講習区分ごと）各講習区分の受講日は、上記のうちいずれか指定する（1日）
※日程及び受講料は、現時点での予定です。